

Newsletter

Vol.8
2016.10

U-ATOM (ユーアトム) とは

グローバル原子力安全・セキュリティ・エージェント教育院では、「全寮制などを導入した新しいユニークな原子力教育（世界原子力安全・セキュリティ道場）」を実施しています。「Unique」の頭文字とATOM（原子）を合わせ、U-ATOM（ユーアトム）としました。

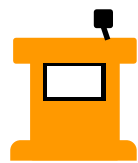
Contents

- 平成28年度道場入門式
- 国際シンポジウム・セミナー
- 韓国研修
- 核セキュリティ実習
- 韓国KAISTとの学生交流
- 学生の紹介
- 活動予定



平成28年度 「世界原子力安全・セキュリティ道場」入門式 U-ATOMによろこそ、5期生！

平成28年7月1日、東京工業大学の環境エネルギーイノベーション棟 多目的ホールにて、グローバル原子力安全・セキュリティ・エージェント教育院5期生の道場入門式が行われました。世界の原子力界を牽引するグローバルリーダーを目指して、5期生3名は大きな希望を胸に新たな一步を踏み出しました。三島良直学長の訓示にはじまり、岸本喜久雄環境・社会理工学院長、齊藤正樹教育院長の挨拶へと続き、学外からは伊藤隆彦日本原子力文化財団理事長、米川英樹日本学生支援機構理事、松井康真テレビ朝日社会部記者といった来賓の方々より将来の活躍へ向けた期待と激励の祝辞をいただきました。



第5回国際シンポジウム・セミナー

The 5th International Symposium and Seminar

標記国際会議を平成28年2月21日から3月3日にかけて、大岡山キャンパスにおいて開催しました。本国際会議は、文部科学省の支援を受けたグローバル原子力安全・セキュリティ・エージェンツ教育院が国内外の関連機関と協力して開催したもので、プログラムが採択された平成23年度よりグローバル・リーダー教育の一環として毎年実施しています。本教育院の学生のみならず、国内外の学生や若手社会人を招へいし、「原子力の安全」「核セキュリティ」「保障措置／核不拡散」を交互に取り上げており、今回は「核セキュリティ」「保障措置／核不拡散」をテーマに開催しました。



第3部のセミナーでは、「核セキュリティ」「保障措置／核不拡散」分野において国内外の第一線で活躍している講師陣による講義の後、学生たちを交えて討議を行いました。終盤の学生セッションでは、セミナー参加学生たちがグループに分かれ、グローバル・リーダーに係る3つのテーマに関して討論を行い、その結果をセミナー最終日にグループ発表することで、さらに議論を深めていきました。講師陣は26名、当教育院の学生を含めセミナー参加学生は47名、一般参加を含め合計117名の参加がありました。マスコミからも2社の取材を受け、本国際会議は成功裏に終了しました。

第1部のシンポジウムでは、「核セキュリティ」「保障措置／核不拡散」の分野における国内外の著名な専門家などを講師として招き、公開で講演会を行いました。第2部のテクニカル・ツアーでは、セミナー参加学生たちは日本原燃株式会社の六ヶ所施設、東北電力株式会社の女川原子力発電所を訪問したり、福島県いわき地区において環境放射線を計測し、大岡山での計測結果と比較するなどの実習を経験しました。

“It was an amazing opportunity to be a participant of a special symposium and seminar on global nuclear human resource development. The lectures, field education and facility visits covered significant topics such as nuclear programs over the world, world issues especially climate change and how nuclear energy may be significant to its solution, and other topics such as how to be a global leader. Overall, the program has given great knowledge on being updated and informed especially on nuclear researches and most importantly, on the efforts in Nuclear Safety, Security and Safeguards (3S) while addressing Energy, Environment and Economy (3E) issues. It was a very productive symposium and seminar with full of learnings, networking and education. Future global leader will be able to use all the knowledge gained to think and implement on what else can be studied for the future of safe nuclear use.”

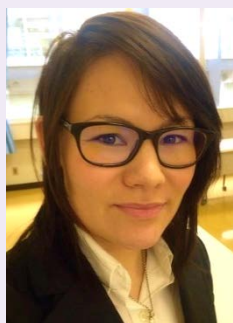
4期生
アサ・アニー・デイ・デ・カストロ





韓国研修

平成28年4月28日から10日間かけて韓国研修を実施しました。KORAD(韓国原子力環境公団)、月城原子力発電所、KINAC(韓国原子力統制技術院)、KAERI(韓国原子力研究院)への施設訪問およびKAIST(韓国科学技術院)と漢陽大学の学生と国際交流を行いました。今回の研修では施設見学だけでなく実習を取り入れたり、現地の学生たちと一緒にスポーツで汗を流したりと、実りの多い研修となりました。



4期生
ブラント・アイリーン

“The Korea study tour provided me with the opportunity to learn more about nuclear industry and South Korea. I learnt more about nuclear waste disposal from KORAD. At KINAC we enjoyed testing the physical protection systems for the nuclear power plant. The part I enjoyed the most was the KAIST and Hanyang University student exchange sessions. There I realized the importance of building relationships with other like-minded students and hearing their ideas, which is valuable in order to solve problems on a global scale. Finally being able to learn about the culture of another country was enjoyable because it broadened my perspective on the lifestyle and thinking of other people.”



核セキュリティ実習

「核セキュリティ実習」では、重要性が増している原子力システムの核セキュリティに係る基本的な考え方、設計、応用まで、座学、実験及び数値解析、施設訪問を通じて実践的に習得することを目的としています。平成28年5月30日から31日にかけて実施した実習は、これまでの経験を活かし、大学での基本実習と日本原子力研究開発機構の施設訪問を行うことで、より体系的な教育カリキュラムを実施することができました。



「シミュレーターを使った衝撃解析や実際の再処理施設の見学を通して、核物質や原子力施設をテロリストから守るための防護システムについて体系的に学ぶことが出来ました。講義のみでは実際に実物を見ることが出来ずイメージをしづかったですが、今回実物を見たり動かしたりすることができ、とても感動しました。」



3期生
藤岡 里英



韓国KAISTとの学生交流

平成28年8月10日、韓国KAISTから国際チームが訪れ、道場学生との学生交流会が開催されました。福島事故について本教育院の杉本特任教授による講演を聴講後、学生たちはグループ別に討論や発表を行い、また、道場学生自ら研究室を案内したりと、短い時間の中でも充実した時間を過ごしました。11カ国からの学生たちで彩られた交流会は、同じ志を持つ若者たちの熱気であふれ、楽しくも思い出深い夏の1日となりました。



学生の紹介 4

「**福**田航大です。原子力発電所の廃止措置に携わることにより、日本だけでなく世界中で人々の役に立ちたい、という思いからU-ATOMに入門しました。U-ATOMのプログラムを通して多くの場所を訪問し、多くの人に会い、様々な経験を積んでいきたいです。知識だけでなく、知識を思う存分に発揮するための一助として、幅広い教養やコミュニケーション能力を身につけようと考えています。」

5期生 福田 航大



“I am Nur Husna Md Hanipah, a 1st year Master student of Nuclear Engineering. I graduated from Bachelor Science in Physics with Electronics in University of Sabah in Malaysia and obtained my first Master in Safety Radiation and Nuclear in the National University of Malaysia in 2014. By joining the Academy for Global Nuclear Safety and Security Agent (U-ATOM) Programme, it would be my best platform to discover my potential and become a leader who could serve for the community well in the future. Currently, I belong to Sagara Laboratory and am focusing on waste categorization system development for debris from Fukushima Daiichi Nuclear Power Station by non-destructive assay technology.”

5期生 マド・ハニパ・ヌル・フスナ

「**学**部時代は機械工学学科に所属しており、原子炉における冷却水の流れと腐食の関係性を流体の数値解析からアプローチしました。より体系的に原子力を学びたいと思い、原子核工学コースに入り、現在は廃止措置作業における臨界安全性について研究しています。東京電力福島第一原子力発電所の事故から5年。廃止措置は着実に進められていますが、今なお課題は山積みです。今後数十年はかかると言われている福島の廃止措置を担う人材を目指し、研究だけではなく、U-ATOMの多彩なカリキュラムを通し幅広い知識と教養を学んでいる日々です。」

5期生 村本 武司



活動予定

- 2016年10月～ 道場講話
- 2017年2月 国際シンポジウム&セミナー
- 2017年3月 環境放射線計測フィールドワーク



最新情報はこちらからアクセス！

